

## 三陸沿岸道路(普代道路)の開通1年後の 交通状況や効果についてお知らせします

～交通事故減少、祭りやイベントの盛況、救急医療などで効果～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。

このたび、普代道路(開通1年後)の交通状況及び効果について取りまとめましたのでお知らせします。

- ◎ 普代道路への国道45号交通の転換は継続、総交通量の約7割が普代道路を通行。

● 交通量の変化(総交通量)

	開通前 (H25.10.2)	開通直後 (H25.10.17)	開通1年後 (H26.10.16)
普代道路	—	2,900台/日	3,200台/日
国道45号(現道)	4,300台/日	2,100台/日	1,600台/日

- ◎ 国道45号の交通量が減少し、**交通事故が7割減少**

- 交通量が減少したことで、より安全に通学できる環境になりました。  
(学校関係者ヒアリング調査より)
- 大型車も大きく減り、歩行者への圧迫感も軽減されています。  
(スクールガード(自治会長)ヒアリング調査より)

- ◎ 国道45号を活用したイベントで**入込み客数が約3倍に増加**

- 普代道路の開通で開催できた歩行者天国の元気市も、前年と比べ時間も拡大でき、地域のイベントとしても定着し商店街の活性化に役立ちました。  
(普代村役場ヒアリング調査より)

- ◎ 地域の伝統行事ふだいまつりの**活性化に貢献**

- 普代道路の開通により規制時間を増やすことができたため、国道上での演舞の実施や新たな催しの実施ができ盛況となりました。  
(普代村役場ヒアリング調査より)

- ◎ 久慈病院への搬送2割増加、**地域医療の質向上に貢献**

- 普代道路の開通により、時間短縮・隘路解消となり、久慈病院への搬送が増えました。より高次の医療を受けられるため、地域医療の質の向上となりました。  
(救急医療関係者ヒアリング調査より)

発表記者会: 岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北専門記者会

### 〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる 戸嶋 守 (内線204)

調査第一課長 なりた しんたろう 成田 信太郎 (内線451)